

新版・技能検定学科試験問題解説集 NO.35 とび・かわらぶきの  
解答について（お詫び）

32ページ

【問4】 土止めに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- イ 土止め親杭（H形鋼）等の打込みに用いられるWJ（ウォータージェット）工法では、パイプロハンマは使用しない。
- ロ ヒーピングとは、水分の多い粘土地盤等で、周辺土圧により掘削底が膨れ上がってくる現象をいう。
- ハ アースアンカー工法とは、アースアンカーにより、土止め壁をその背面の定着層にアンカーして周辺地盤の崩壊を防ぐ工法である。
- ニ 土止め用の切ばりを一定の間隔に配置し、その交差部に適切な緊結をして水平方向の座屈を防止する処置をすれば、支柱（中間杭）はなくてもよい。

《お詫び》

本設問の解答で、誤っている内容は《イ》となっていますが、《ニ》も誤っています。従って、解答が《2つ》あることとなります。謹んでお詫び申し上げます。